那覇防衛施設局長・岡崎　匠　様

ボーリング調査の延期を求める緊急署名

４月７日、普天間飛行場代替施設の建設予定地とされている名護市辺野古沖でのボーリング調査に沖縄県が同意したのを受けて、那覇防衛施設局は近々にも調査に着手しようとしています。このことに大きな疑問と不安を持つ私たちは貴局に次のことを求めます。

ボーリング調査・弾性波探査を含む現地技術調査を米軍の再編計画が確定するまで延期すること．

＜理由＞

１）米軍の再編計画の中で「代替施設なしの普天間基地返還」の選択肢があげられ、今秋に行なわれる米軍大統領選の結果次第では、この計画自体がなくなる可能性がある。
２）代替施設建設には今後１６年以上はかかるとされ、その間、危険な普天間基地は放置される。
３）建設予定地は、日本のジュゴンの最後に残された生息域であり、サンゴの海の幸が地域の人々の暮らしと文化を支えてきた、かけがえのない生活圏でもある。ボーリング等によってジュゴンが絶滅し、海の生態系が破壊されたあとで計画が撤回されたら、取り返しがつかない。
４）環境アセスメント前のボーリング調査による自然破壊は、アセスを形骸化するものである。
５）ボーリングを含む現地技術調査にかかる費用は総額で約９億５０００万円と言われる。巨額の血税を無駄遣いすべきではない。

氏　　名	住　　所

署名集約先：ボーリング調査の延期を求める緊急署名実行委員会
郵　送：〒905-2173　名護市久志１０４　森山方
ＦＡＸ：０９８０－５５－３６４０（森山・電話兼用）、０９８０－５５－８７７１（浦島・電話兼用）

※　第1次集約4月２５日　　**尚、この用紙は増刷し、できるだけ多くの人に広げて下さい。**